

# LCRシリーズ 取扱説明書

## ◆安全に関する重要な内容です。

ご使用のまえに本取扱説明書を必ずお読みください。

本取扱説明書は必ず保管してください。

※警告：取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う恐れがある。

注意：取扱いを誤った場合、使用者が軽傷または物的損害を負う恐れがある。



### 警告



禁止

- ◆製品の分解・改造はしないでください。  
⇒火災・感電・故障の原因となります。
- ◆適合プラグ以外使用しないでください。  
⇒火災・感電の原因となります。
- ◆定格電圧・定格電流を守ってご使用ください。  
⇒焼損・火災の原因となります。
- ◆重いものを落としたり、ぶついたり等  
強い衝撃を与えないでください。  
⇒製品が破損し、地絡・感電の原因となります。
- ◆ぬれた手でプラグの抜き差しを  
行なわないでください。  
⇒火災・感電・故障の原因となります。



必ず守る

- ◆プラグはコンセントへ確実に押し込んでください。  
⇒火災・感電・地絡の原因となります。
- ◆プラグを抜く際はプラグを持ち、コンセント面  
に対して垂直に抜き、コードを引っ張らないで  
ください。  
⇒コンセントの破損・脱落の原因となります。
- ◆コンセントが破損した場合は必ず使用を  
中止してください。  
⇒火災・感電の原因となります。



### 注意



禁止

- ◆水や洗剤・ワックス等を使用しないでください。  
⇒火災・感電及び表面の変色の原因となります。
- ◆抜止めコンセントの場合、プラグロック状態では  
絶対に引っ張らないでください。  
⇒破損の原因となります。



必ず守る

- ◆乾燥した場所でご使用ください。  
⇒機能不備の原因となります。
- ◆プレートフタで手をはさまないように  
注意してください。  
⇒けがの原因となります。

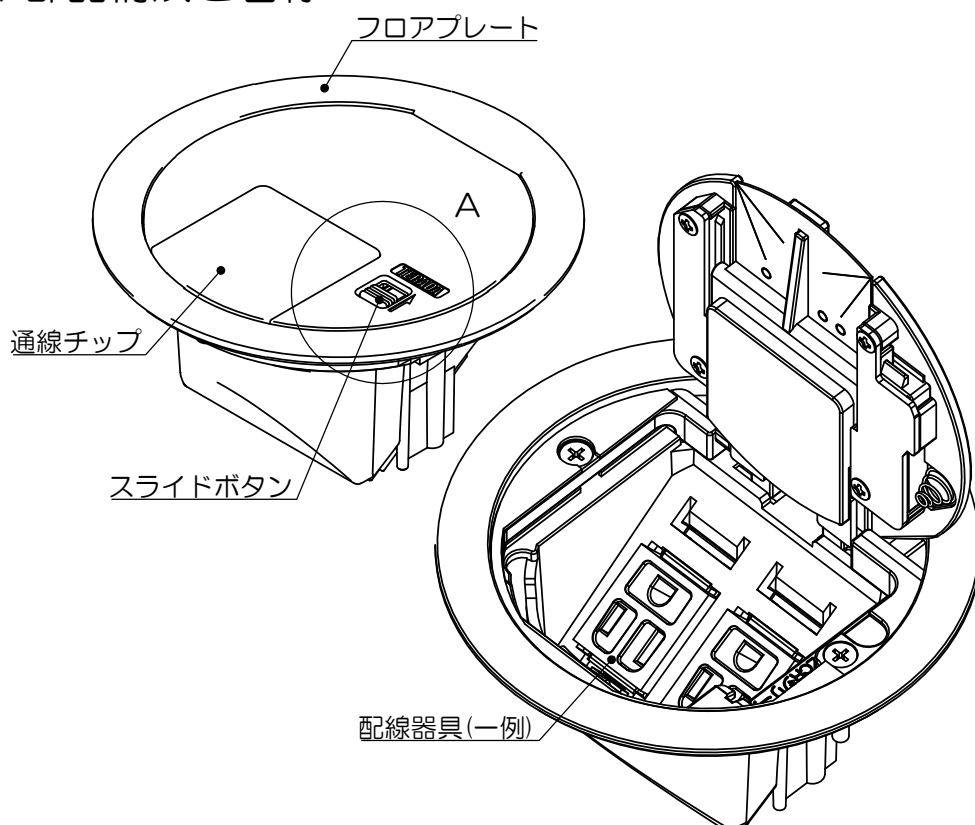
## 保守・点検について



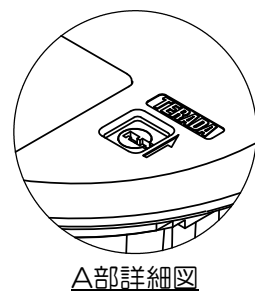
必ず守る

- ◆本製品及び使用プラグは定期的に点検を行ない、  
乾いた布などでホコリを取り除いてください。  
⇒焼損・火災の及びプレートの開閉不良の  
原因となります。
- ◆プレートの表面の汚れは、  
固く絞った濡れ雑巾等で拭き取ってください。
- ◆本製品が破損・故障した場合は、  
速やかに施工工事店へ連絡してください。

## ◆部品構成と名称



### 鍵付きの場合



△部詳細図

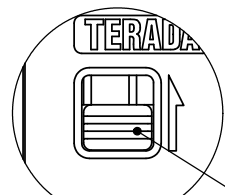


添付キー(1本)

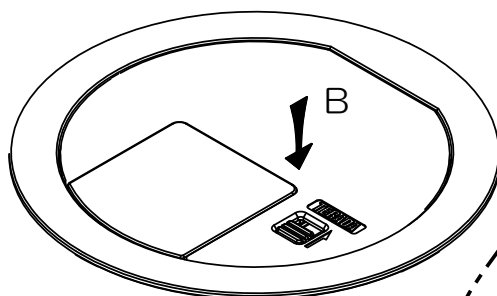
# ご使用方法

## 1 プレートフタを開ける

### 標準タイプ



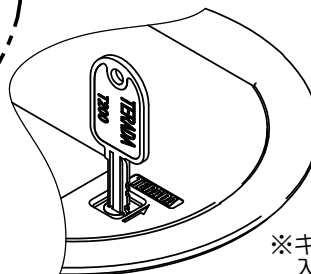
矢視B  
スライドボタン詳細図



スライドボタンを  
矢印の方向にスライドさせ  
フタをあげてください。

ドライバー等で強く押さないでください。  
破損・機能不備の原因になります。

### 鍵付きタイプ

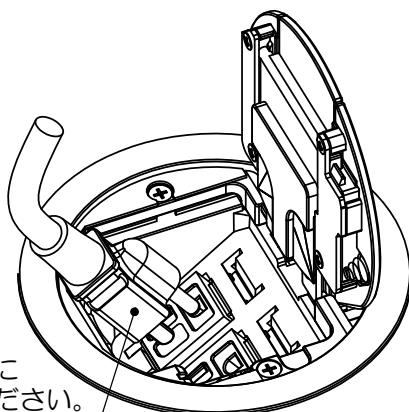


1. 鍵穴に合わせて添付のキーを挿し込みます。
2. キーを左に360° 回し解錠してください。

※キーは先端6mm程度しか  
入りませんが問題ありません。

※鍵付き製品の場合、塵、埃により施錠動作が悪くなる場合があります。  
定期的に鍵穴のメンテナンスを行ってください。  
動作改善のために潤滑スプレーをご使用になる際は、鍵穴専用のフッ素系  
潤滑スプレー以外ご使用にならないでください。

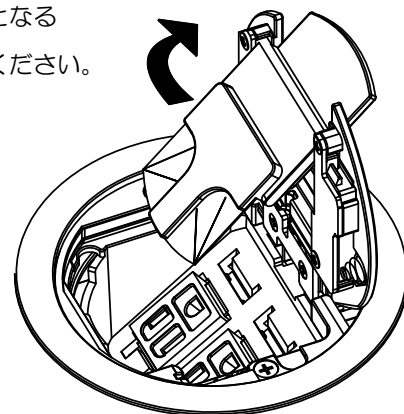
## 2 プラグの挿し込み



プラグをコンセントに  
確実に挿し込んでください。

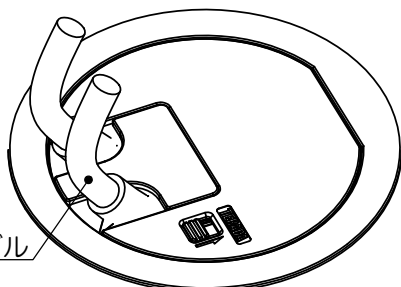
## 3 通線チップを反転させる

ケーブルの引き出し口となる  
通線チップを引き出し、  
反転させ、はめ込んでください。



## 4 プレートフタを閉める

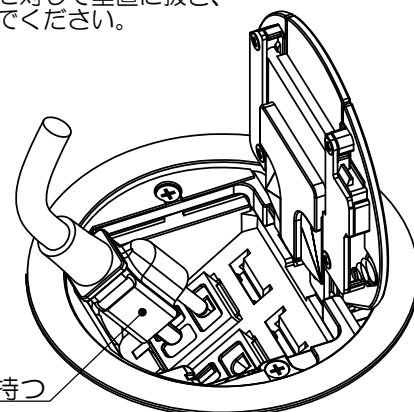
ケーブルを通線チップの切欠き部分に通し、  
プレートフタを“パチン”と鳴るまで、完全に閉めてください。



ケーブル

## 5 プラグを抜く時の注意点

プラグをコンセント面に対して垂直に抜き、  
コードは引っ張らないでください。



プラグを持つ

### ■ お問い合わせ先

**株式会社TERADA**

東日本：042-795-7648 / 西日本：06-6350-1361

# LCRシリーズ 施工手順書

## ◆安全に関する重要な内容です。




施工のまえに本施工手順書を必ずお読みください。

施工後は本施工手順書を必ず使用者が保管してください。

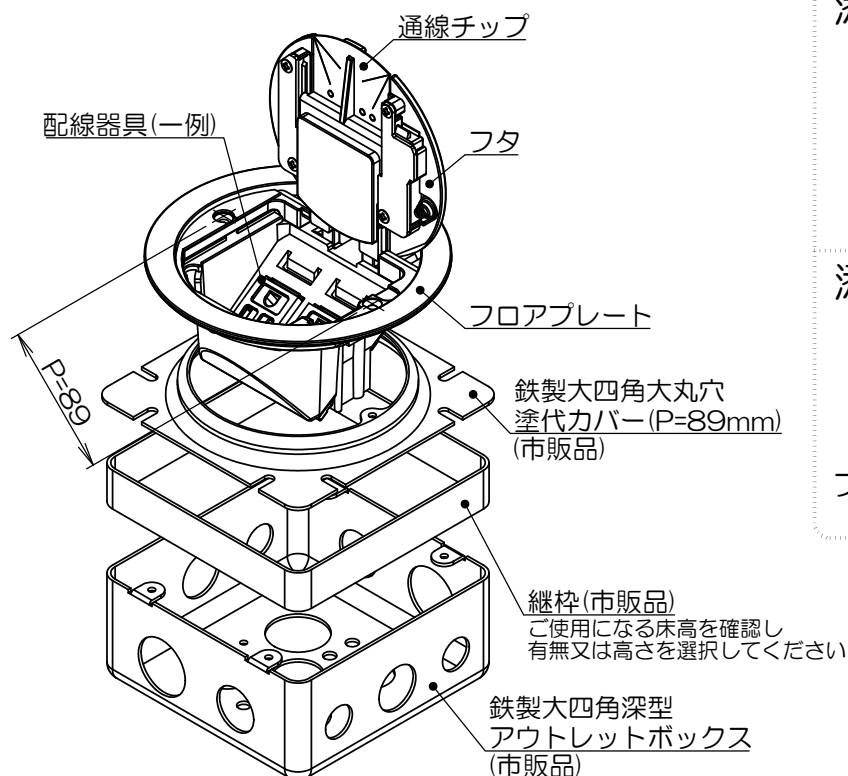
※警告：取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う恐れがある。

注意：取扱いを誤った場合、使用者が軽傷または物的損害を負う恐れがある。

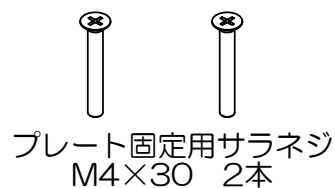
 警告	
 禁止	◆製品の分解・改造はしないでください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。
	◆重いものを落としたり、ぶつけたり等強い衝撃を与えないでください。 ⇒製品が破損し、地絡・感電の原因となります。
 必ず守る	◆結線は所定の方法で、確実に行ってください。 ⇒焼損・火災・機能不備の原因となります。
	◆電気工事は「電気設備技術基準」、「内線規程」に従い電気工事士資格者が行ってください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。
	◆必要に応じ「電気設備技術基準」の接地工事を実施してください。

 注意	
 禁止	◆水や洗剤・ワックス等を使用しないでください。 ⇒火災・感電及び表面の変色の原因となります。
	◆養生テープ等のテープ類を長時間貼り付けたままにしないでください。 ⇒メッキや塗装が剥がれる原因となります。
 必ず守る	◆通行の障害となる様な場所や机の下等、製品が蹴られる様な場所に施工しないでください。 ⇒製品の破損・故障の原因となります。
	◆床暖房が施されている床に施工しないでください。 ⇒結露し漏電・感電の原因となります。
	◆容易に点検できる乾燥した場所に施工してください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。
	◆床に堅固に取り付けてください。 ⇒電線やケーブルが抜けたり、傷つく原因となります。

## ◆部品構成と名称



### 添付品 (標準品)



### 添付品 (鍵付き製品)



## ◆アウトレットボックス選定例

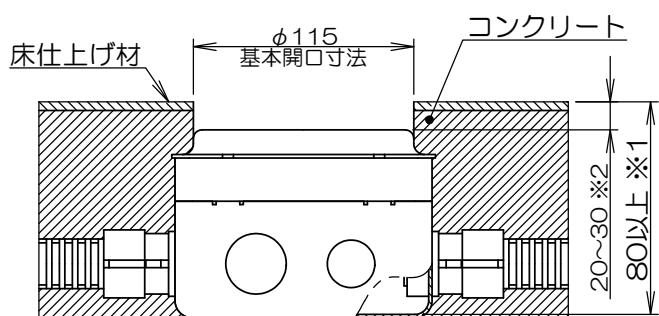
組 合 せ	必要床高
鉄製大四角深型アウトレットボックス + 鉄製大四角大丸穴塗代カバー(P=89mm)	90mm 以上
鉄製大四角浅型アウトレットボックス + 鉄製大四角大丸穴塗代カバー(P=89mm)	80mm 以上
鉄製大四角深型アウトレットボックス + 鉄製大四角大丸穴平塗代カバー(P=89mm)	80mm 以上
鉄製大四角浅型アウトレットボックス + 鉄製大四角大丸穴平塗代カバー(P=89mm)	80mm 以上

※CAT6モジュラジャック、CAT6Aモジュラジャック、TVユニットをご使用になる場合は必要床高100mmとなります。

# 施工方法

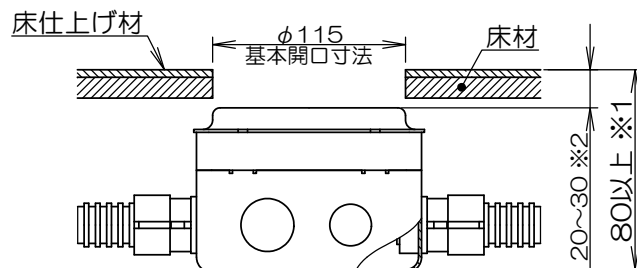
## 1 床面の開口

- ※1. ご使用になるアウトレットボックス・塗代カバーの種類により必要埋込深さが変動します。(アウトレットボックス選定例参照) またCAT6、CAT6Aモジュラジャック、TVユニットをご使用になる場合は必要埋込深さが100mm以上必要となります。
- ※2. 20~30mmは製品を施工するのに必要な埋込深さとなります。



打ち込みの場合

ボックス打ち込み後、塗代カバー上部のコンクリートにハツリ作業を行ない、床仕上げ材にも同じ開口を施します。

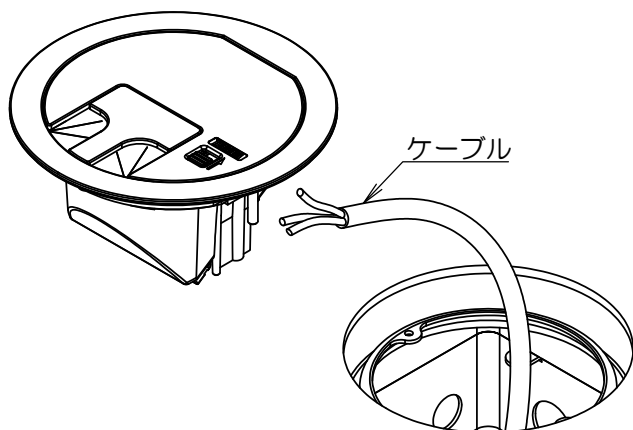


二重床の場合

ボックス固定後、塗代カバー上部の床材と床仕上げ材に同じ開口を施します。

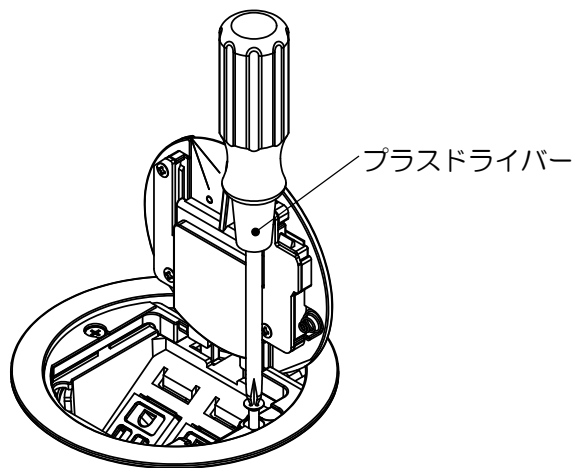
## 2 ケーブルの接続

ボックスに引き込まれているケーブルを配線器具に接続してください。配線方法については各コネクタの配線方法に従って行ってください。

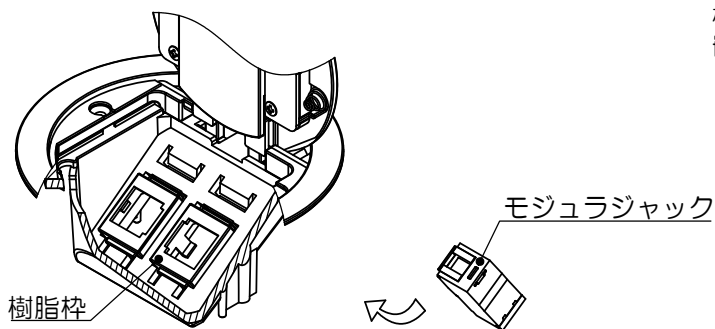


## 3 フロアプレートの固定

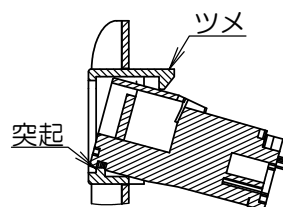
塗代カバーのM4タップとフロアプレートのサラ穴の位置を合わせ添付のサラネジ(M4×30)2本で固定してください。



### ◆モジュラジャック組付けについて



樹脂枠の突起をモジュラジャックと嵌合させた後、ツメで固定します。



### ■ お問い合わせ先

**株式会社TERADA**

東日本：042-795-7648 / 西日本：06-6350-1361